増設用バッテリユニットBUM100S/150S/300S取扱説明書

●この説明書には増設用バッテリユニット（BUM100S/150S/300S）を安全にご使用いただくため重要なことが書かれていますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。
●無停電電源装置（UPS）（BU100SW/BU150SW/BU1002SW/BU3002SW）の取扱説明書を先に読んで、無停電電源装置（UPS）取扱いを理解してから、増設用バッテリユニットの接続、増設を行ってください。

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険

分解、修理、改造をしないこと。

●感電したり、火災を起こす危険があります。

内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

●失明したり、火傷をする危険があります。
●目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

危険（製品の用途）

本製品を、下記の例のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。
（本製品は、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。）

● 人命に直接関わる医療機器やシステム
● 人身の安全に直接関連する用途。（例：車両・エレベータなどの運行、運転、制御など）
● 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。（例：主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など）
● 上記に準ずる用途。

注意（設置時）

運搬、取り出し、設置の作業はBUM300Sは2名以上で行うこと。

● けが、落下、転倒などの危険があります。

製品の重量はBUM100Sは20.5kg、BUM150Sは21.5kg、BUM300Sは43.5kgです。重量に注意して取出しや運搬を行うこと。

● 転倒や落下するとけがをすることがあります。
● 落下させた場合は、すぐに本製品の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

梱包のポリ袋やフィルム類は幼児の手の届かない場所に移すこと。

● 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

⚠ 注 意（設置時）

指定方向以外では設置しないこと。

● 設置方向は 4 ページ「2-1 設置をする」をご参照ください。
● 転倒や落下するとけがをすることがあります。

最高気温が 40℃を超える場所で使用しないこと。

● バッテリが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
● 本製品が故障したり、誤動作を起こすことがあります。

使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。
次のような場所で設置や保管をしないこと。

● 湿度が 20%よりも低い／湿度が 90%よりも高い場所に保管しないこと。
● 湿度が 25%よりも低い／湿度が 85%よりも高い場所で使用しないこと。
● 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある／屋外など。
● 火災などの原因になることがあります。

⚠ 注 意（使用時）

寿命が尽きたバッテリはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

● 使用を続けると火災を起こすことがあります。

平均周囲温度	期待寿命
20℃	4 ～ 5 年
30℃	2 ～ 2.5 年

※左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、
保証値ではありません。

上にものを乗せたり、金属物を落下させないこと。

●ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。

密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

● 異常な発熱や火災を起こすことがあります。

濡らしたり、水をかけないこと。

● 感電したり、火災を起こすことがあります。
● 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

バッテリ接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。

●感電する恐れがあります。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

● バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
●落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

● 火災の原因となることがあります。
● 商品型式： BP100XS（BUM100S（2 個必要）交換用バッテリパック）
BP150XS（BUM150S（2 個必要）／ BUM300S（4個必要）交換用バッテリパック）

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

● バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

● 失明したり、やけどをする危険があります。
● 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

● 感電、発火、やけどの恐れがあります。
● 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

● バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

新しいバッテリと古いバッテリを同時に使用しないこと。

● 希硫酸が漏れたりすることがあります。

お願い

購入されましたら、早目に充電（24 時間以上）してください。

● ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
● 無停電電源装置（UPS）の「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込むことでバッテリを充電できます。

無停電電源装置（UPS）を保管される場合は24時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

● バッテリは使用しない場合でも自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。
バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
●長期間保管される場合は25℃以下の環境を推奨します。
保管温度　25℃以下の場合、6ヶ月以内、
保管温度　40℃以下の場合、2ヶ月以内に無停電電源装置（UPS）の「AC入力」プラグを24時間以上商用電源コンセントに接続してください。
● 保管中は無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを切ってください。

本機を直射日光の当る場所に設置あるいは保管しないでください。

● 温度上昇により内蔵バッテリが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力下さい。
リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡下さい。

Pb

1-1 製品を取り出す

⚠ 注 意

運搬、取り出し、設置の作業は BUM300S は 2 名以上で行うこと。

● けが、落下、転倒などの危険があります。

製品の重量は BUM100S は 20.5kg、BUM150S は 21.5kg、BUM300S は 43.5kg です。重量に注意して取出しや運搬を行うこと。

● 転倒や落下するとけがをすることがあります。

● 落下させた場合は、すぐに本製品の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。

不安定な場所へ設置しないこと。

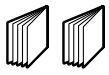
● 転倒や落下するとけがをすることがあります。

梱包箱をあけ、増設用バッテリユニットと付属品を取り出してください。

1-2 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

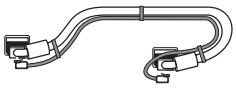
1. 取扱説明書（日本語版、英語版）..... 1 冊
2. バッテリ接続ケーブル＋ケーブル固定金具
   （BUM100S のみ）..... 1 個
3. バッテリ接続ケーブル＋信号ケーブル
   （BUM300S のみ）..... 1 組
4. 保証書 ..... 1 枚



取扱説明書
（日本語版、英語版）

保証書

バッテリ接続ケーブル
＋ケーブル固定金具
（BUM100S のみ）



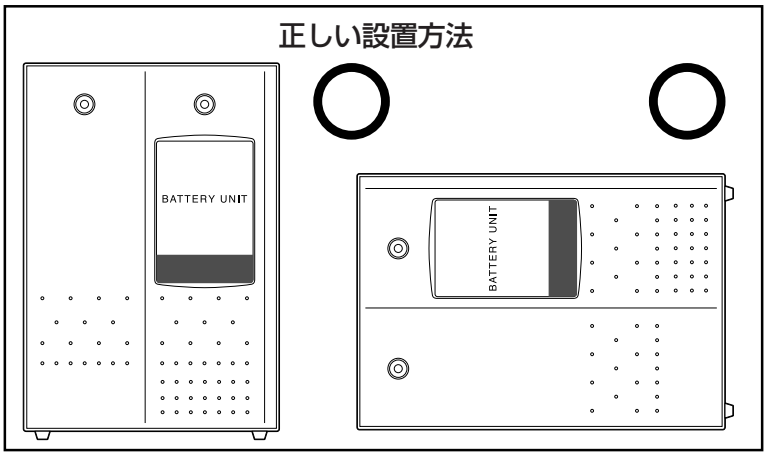
バッテリ接続ケーブル
＋信号ケーブル
（BUM300S のみ）

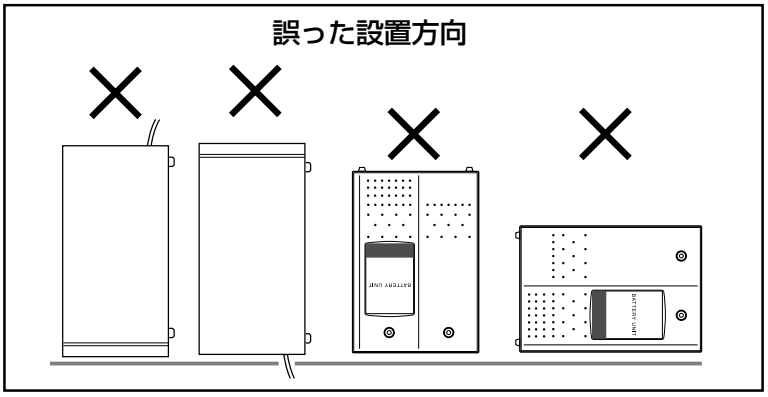
2-1 設置をする

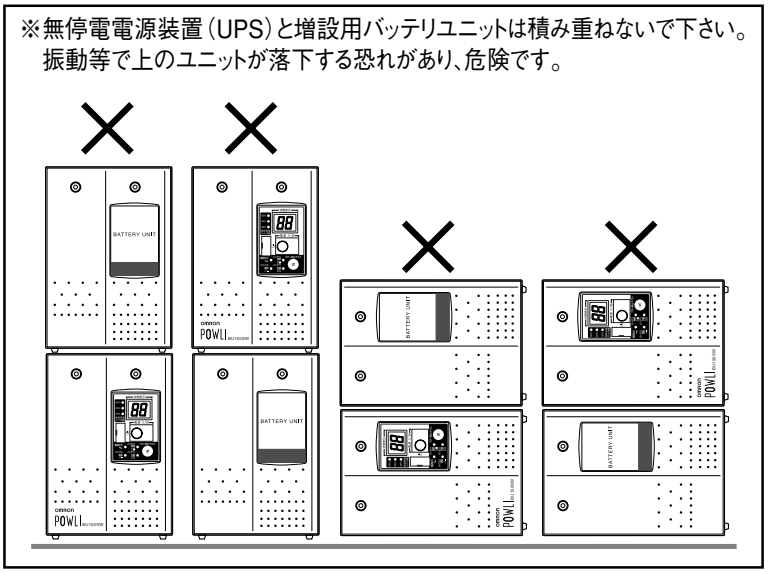
増設用バッテリユニットを設置します。

下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

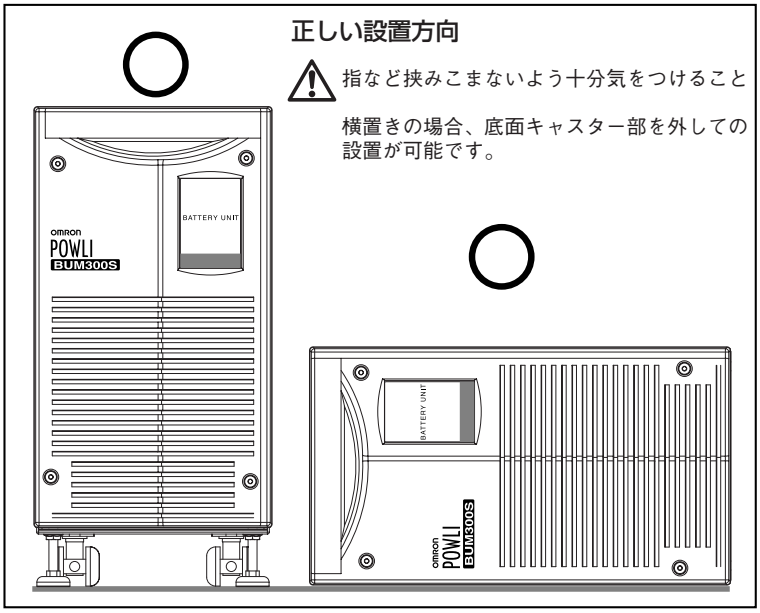
● BUM100S/BUM150S の場合

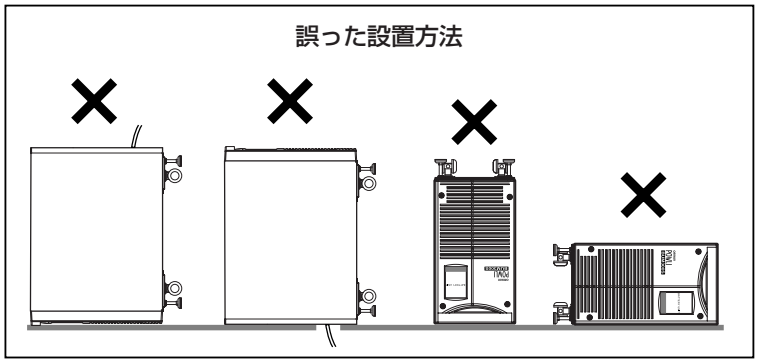


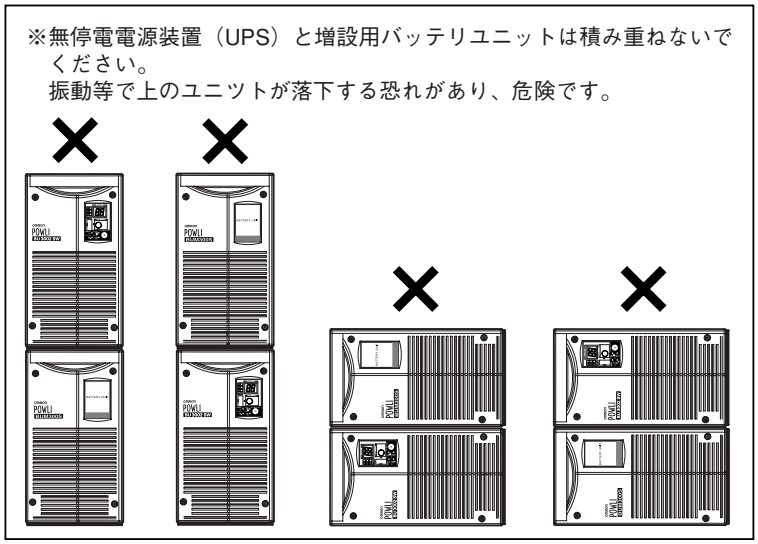




● BUM300S の場合







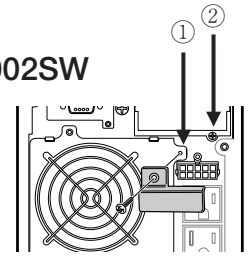
※BUM300Sは、本体BU3002SWと同様に設置してください。
参照〉 →BU1002SW/BU3002SW取扱説明書17ページ

2-2 増設用バッテリユニットの接続（BUM100S/BUM150S/BUM300S）

増設できる増設用バッテリユニットは 1 台のみです。

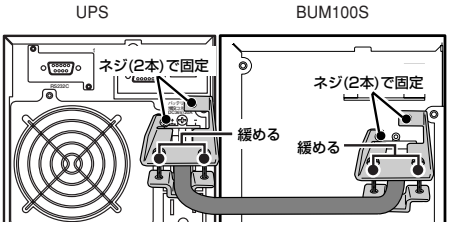
2-2-1 BUM100S の接続方法／接続可能 UPS : BU100SW/BU1002SW

(1) UPS 背面のバッテリ増設コネクタのカバーを外します。---①
信号カード増設スロットのカバー下側のネジもはずしてください。---②

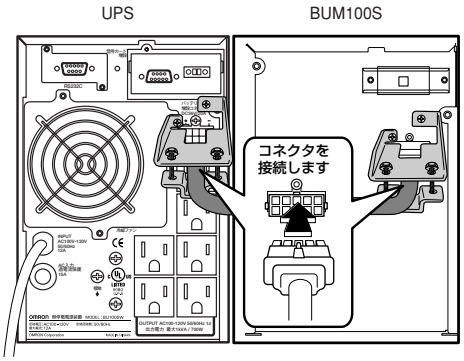


(2) UPS と BUM100S のリアパネルに金具をネジ(2 本)で固定します。このとき、ケーブルをはさんでいる固定金具を締めつけるネジは緩めておきます。

●金具の固定は(1)ではずしたネジを使用してください。

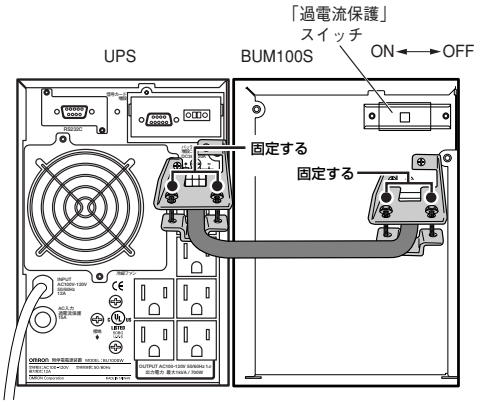


(3) UPS と BUM100S 背面のコネクタにケーブルのコネクタを接続します。



(4) (2)で取り付けた金具とケーブル固定金具でケーブルを挟み込むようにし、ネジ(各 2 本)で固定します。

バックアップ時間は 700W の機器を接続した場合、30 分となります。
（周囲温度 20℃、バッテリ初期値）
また、充電時間は完全放電状態から 24 時間となります。



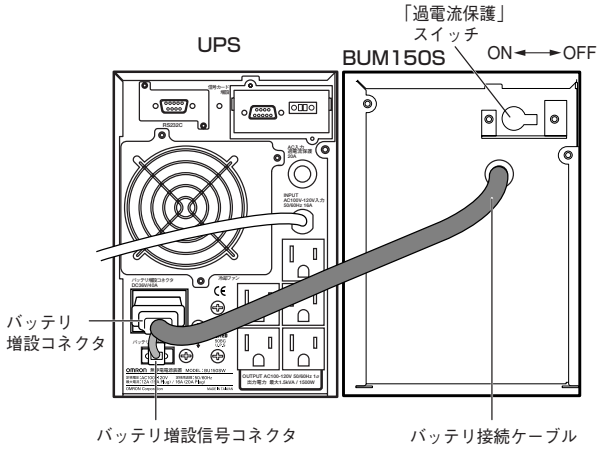
(5) 増設用バッテリユニット背面の「過電流保護」スイッチを「ON」側に倒します。

2-2-2 BUM150S の接続方法／接続可能 UPS : BU150SW

(1) BUM150Sの背面より出ているバッテリケーブルの先をUPSのバッテリ増設コネクタおよびバッテリ増設信号コネクタにそれぞれしっかり差し込んでください。

> バックアップ時間は 1050W の機器を接続した場合、20 分となります。
> (周囲温度 20℃、バッテリ初期値)
> また、充電時間は完全放電状態から 24 時間となります。

(2) 増設用バッテリユニット背面の「過電流保護」スイッチを「ON」側に倒します。

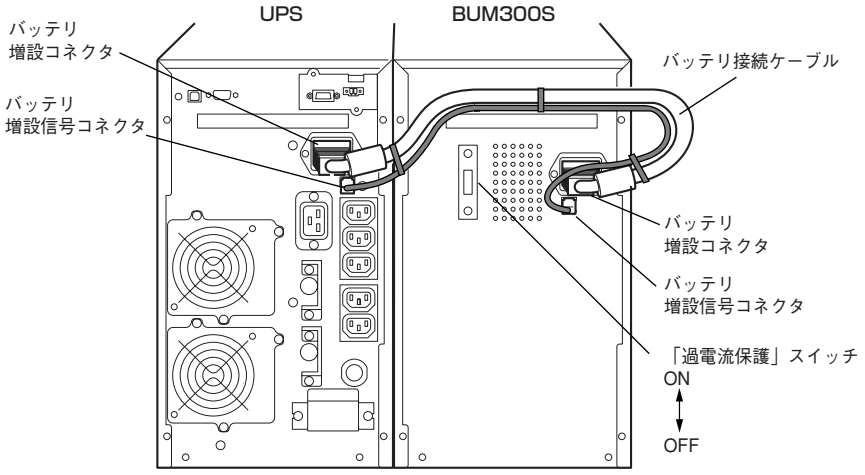


2-2-3 BUM300S の接続方法／接続可能 UPS : BU3002SW

(1) UPS とバッテリユニット背面のコネクタにバッテリ接続ケーブルのコネクタを接続します。
バッテリ増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。

(2) バッテリユニット背面の「過電流保護」スイッチを ON 側に倒します。
UPS の「AC 入力」プラグを電源コンセントに接続後、UPS 操作部の「バッテリ増設」ランプが点灯します。

> バックアップ時間は 2100W の機器を接続した場合、24 分となります。
> (周囲温度 20℃、バッテリ初期値)
> また、充電時間は完全放電状態から 24 時間となります。



3 バッテリの交換

無停電電源装置（UPS）が運転中止（電源出力停止）状態や、運転中（電源出力中）のどちらでもバッテリの交換ができます。

⚠ 注意

増設用バッテリユニット（BUM100S/BUM150S/BUM300S）を無停電源装置（UPS）に接続してご使用されている場合は、バッテリの交換を同時に行ってください。増設用バッテリユニットのみのバッテリ交換はできません。

⚠ 注意

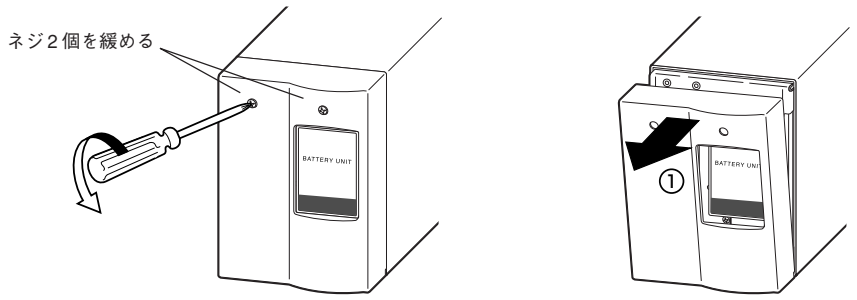
無停電電源装置（UPS）をUL、CE規格適合品としてご使用される場合は、運転（電源出力中）状態でのバッテリの交換はしないでください。運転状態でのバッテリの交換機能はUL、CE規格に適合していません。かならず無停電電源装置（UPS）の運転を停止してバッテリを交換してください。

※ 停止状態で交換される場合は、接続機能を停止し、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを切り、「AC入力」プラグを電源コンセントから抜いてください。
※ 運転状態でのバッテリ交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、パックアップできず出力が停止します。
※ パックアップ運転中にバッテリ交換をしないでください。出力が停止します。

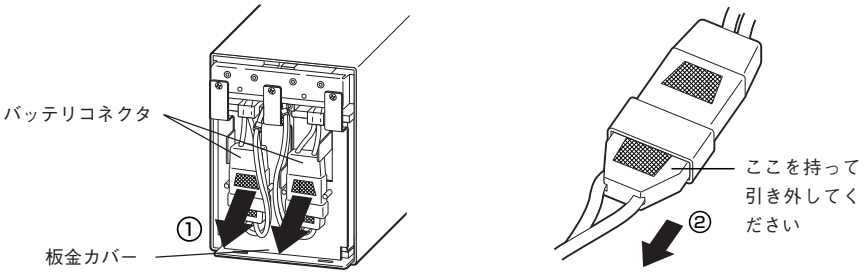
■増設用バッテリユニット（BUM100S/BUM150S）のバッテリの交換方法

無停電電源装置（UPS）のバッテリ交換方法については、無停電電源装置（UPS）の取扱説明書をお読み下さい。

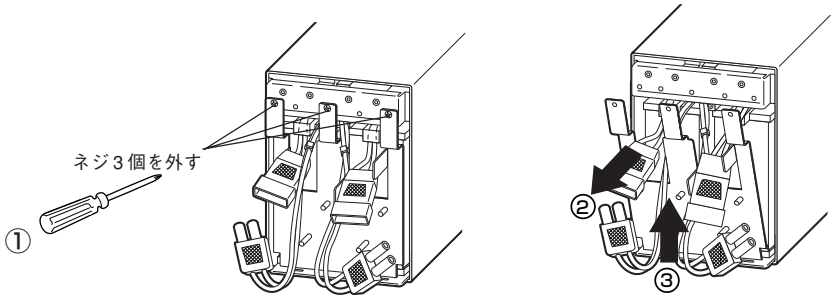
1. 増設用バッテリユニットのフロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）
   フロントパネルを手前に引き外します。①



2. 板金カバーからバッテリコネクタ2個を取り①、コネクタを引き外します。②



3. 板金カバーを止めてあるネジ2個を反時計回りに回して外します。①
板金カバーを手前に引きながら②、上に持ち上げ外します。③

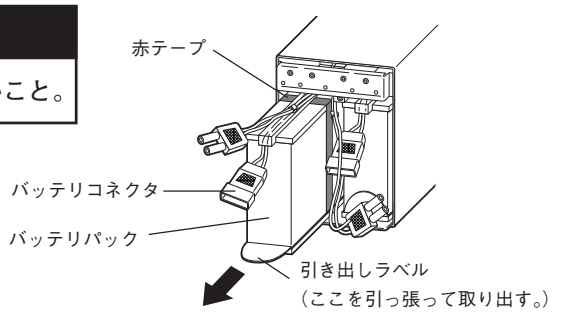


4. バッテリパック下段の引き出しラベルを持ってバッテリパックを両方とも取り出します。

⚠ 注 意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリパックの天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリが完全に取り出せます。バッテリ上部をしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう、注意してください。

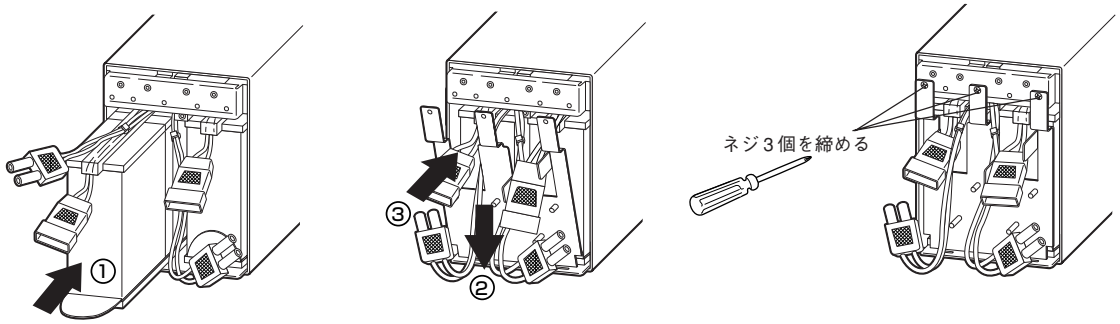


5. 新しいバッテリパック2個を増設用バッテリユニットに奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリパック

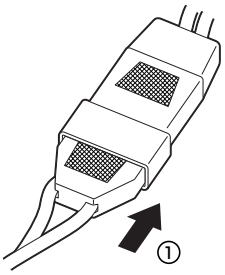
BUM100S用:型式名:BP100XS(2個必要)
BUM150S用:型式名:BP150XS(2個必要)

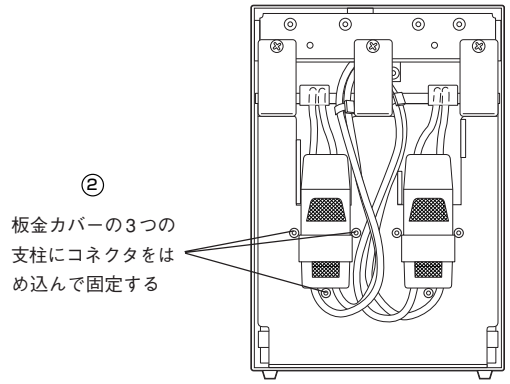
板金カバーを取り付けます。
カバー下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後②、本体側へ押さえます。③
外したネジ3個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。



6. コネクタを止まるまで差し込みます。①
コネクタを板金カバーに固定します。②

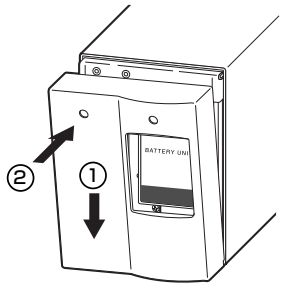
本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に”バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

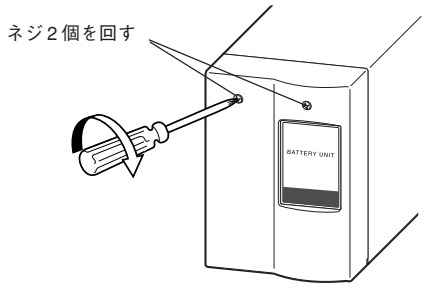




板金カバーに固定できない場合は、コネクタが完全に差し込まれていません。再度、コネクタを差し込みなおしてください。

7. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル下側のツメを本体側の穴に差し込んだ後①、本体側へ押さえます。②
フロントパネル上側にあるネジ2個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。



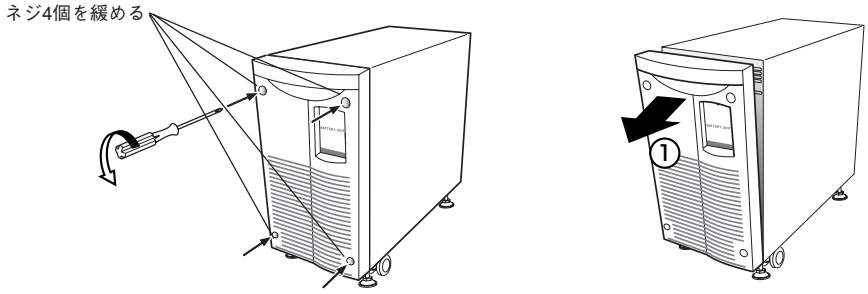


以上でバッテリ交換完了です。

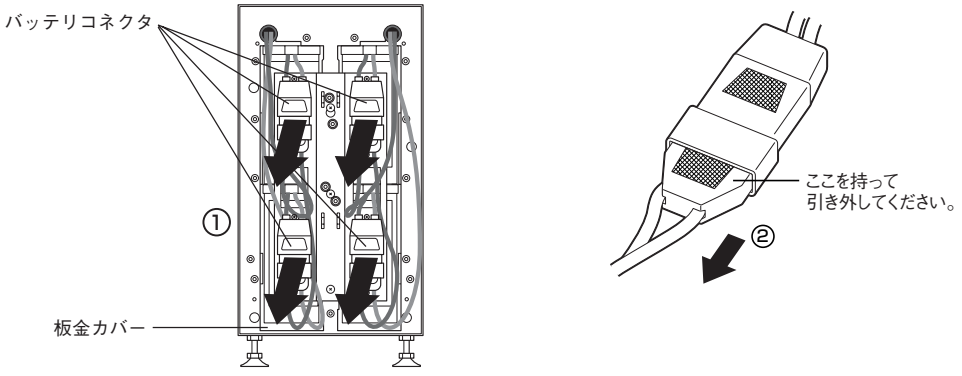
■増設用バッテリユニット（BUM300S）のバッテリの交換方法

無停電電源装置（UPS）のバッテリ交換方法については、無停電電源装置（UPS）の取扱説明書をお読みください。

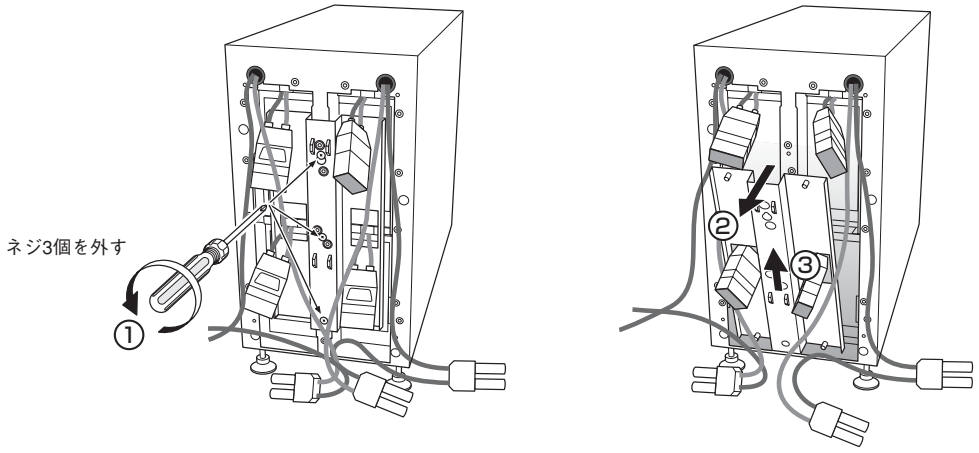
1. 増設バッテリユニットのフロントパネルにあるネジ4個をドライバーで反時計回りにネジが空回りするまで緩めます。（ネジはフロントパネルから外れない構造になっています。）
   フロントパネルを手前に外します。①



2. 板金カバーからバッテリコネクタ4個を取り①、コネクタを引き外します。②



3. 板金カバーを止めてあるネジ3個を反時計回りに回して外します。①
   板金カバーを手前に引きながら②、上に持ち上げ下部2つのバッテリコネクタを通し穴から取り出して外します。③

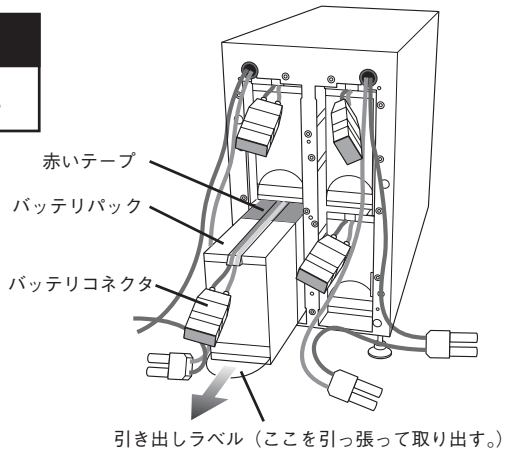


4. バッテリパック下部の引き出しラベルを持ってバッテリを4個とも取り出します。
上段と下段、1つずつ取り出してください。

⚠注意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリが完全に取り出せます。バッテリを両手でしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

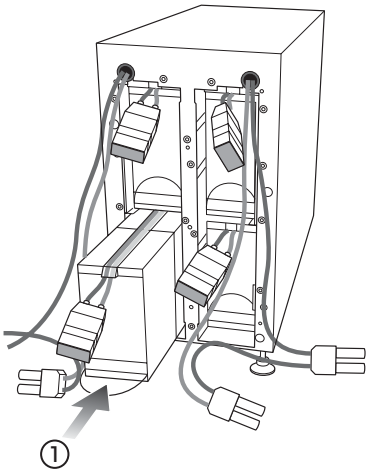


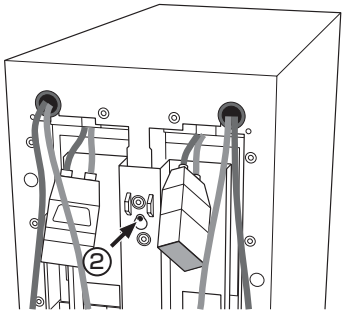
5. 新しいバッテリパック4個を増設用バッテリユニットに奥まで挿入し、収納します。①

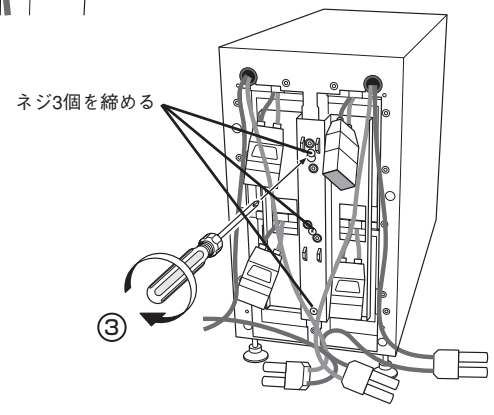
●交換用バッテリパック

BUM300S用：型式名BP150XS（4個必要）

板金カバーを取り付けます。
板金カバー上部のしずく型ネジ穴と、増設用バッテリユニットの一番上のネジ穴を合わせます。②
外したネジ3個をドライバーで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。

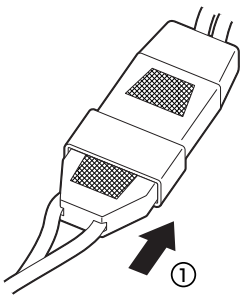


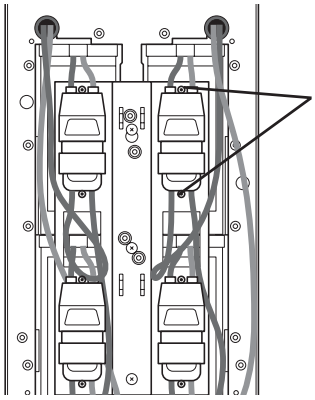




6. コネクタを止まるまで差し込みます。①
コネクタを板金カバーに固定します。②

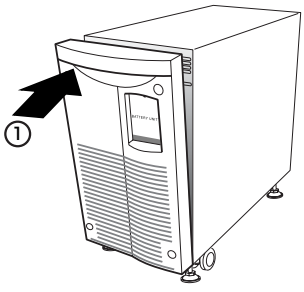
本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

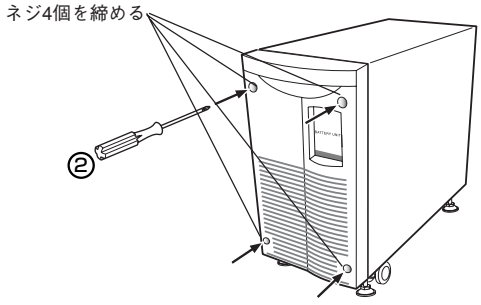




**板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。
再度、コネクタを差し込みなおしてください。**

7. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネルを本体側へ押さえます。①
フロントパネル上部にあるネジ4個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②





以上でバッテリ交換は完了です。

＜運転状態のまま交換した後は・・・＞

「ブザー停止／テスト」スイッチを5～10秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。
交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

＜運転を停止して交換した後は・・・＞

「AC入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。

天面のシールに使用開始時期を記入してください。なお、無停電電源装置(UPS)に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

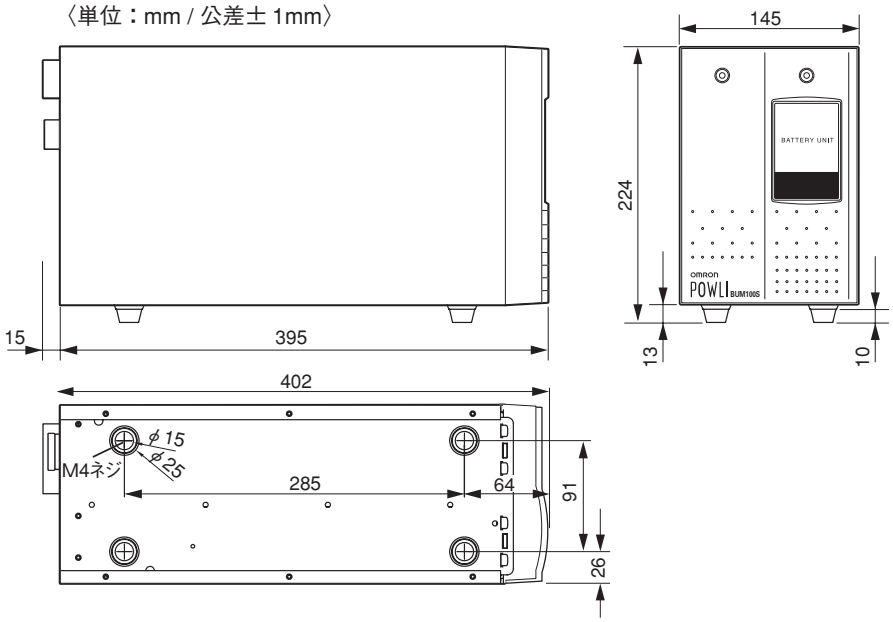
この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

- 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力下さい。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡下さい。

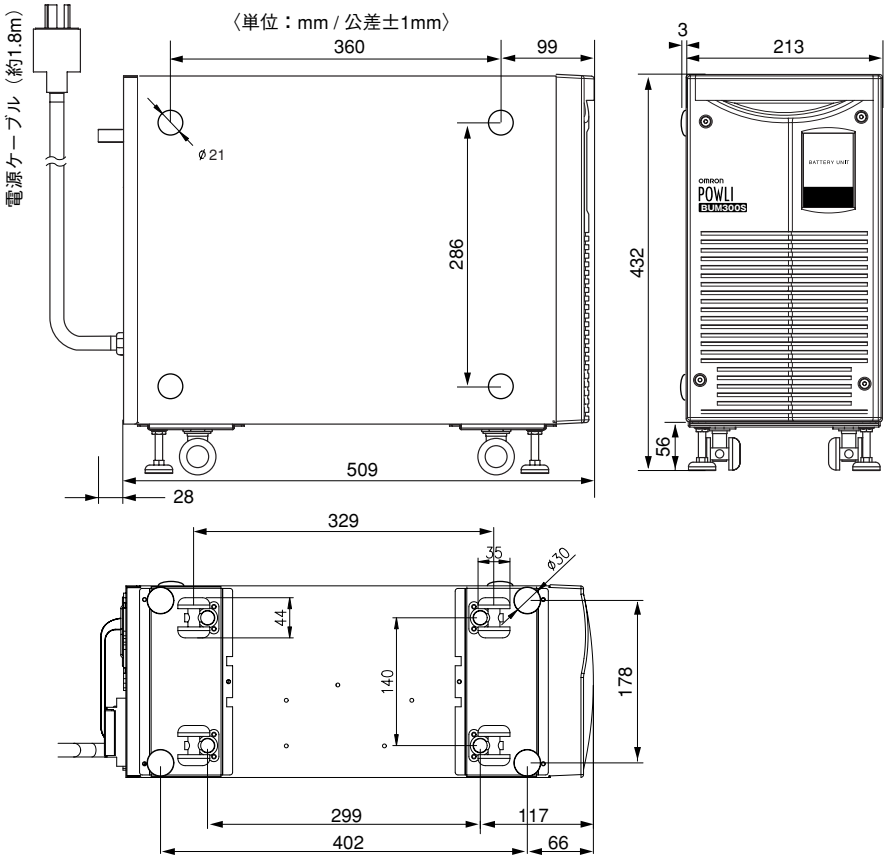
外形寸法図

● BUM100S/BUM150S

〈単位：mm / 公差± 1mm〉



● BUM300S



K1L-D-05079D